
平成 30 年度第 1 回彦根市環境審議会 会議概要

開催日時：平成 30 年 8 月 8 日(水) 14 時～15 時 35 分

開催場所：彦根市役所 別館 2 階 2A 会議室

【会議の内容】

1. 開会

2. 議事

(1) 第 2 期彦根市環境基本計画および地域行動計画の指標の見直しに係る審議結果報告について

➤ (事務局から説明)

- ・現計画が平成 23 年 3 月に策定されて以降、時間の経過に伴い、時代にそぐわなくなった指標、管理できなくなった指標について、平成 29 年度に見直し作業を行い、指標の変更、削除や目標値の変更等を行ったことを報告した。

(2) 彦根市環境基本計画および地域行動計画の評価報告について

➤ (事務局から説明)

- ・計画に掲げる各指標の平成 28 年度の進捗状況について報告した。

➤ (委員からの意見等)

- ・環境パートナー委員会と環境審議会の役割、関係性はどのように理解すればよいか。
→基本的に計画の進捗状況の評価については環境パートナー委員会の役割であり、出された評価については尊重いただきつつ、課題等から指標や目標値の変更を行うなどの調査・審議を行っていただくことが環境審議会の役割と理解いただきたい。

(3) 今後の審議会の進め方について

➤ (事務局から説明)

- ・第 2 期彦根市環境基本計画および地域行動計画の計画期間が平成 32 年度までと残り約 2 年となる中、平成 30 年度以降の審議会は、現状や課題整理をしつつ、次期計画において、主に彦根市として取り組もうとする大きな項目について調査および審議を行ってもらうことを提案した。

➤ (委員からの意見等)

- ・計画として、一つには数値目標をつくりそれを管理する計画がある。しかし、数値目標にとらわれすぎると、数値では測れない大きな項目が軽視され、細かい項目ばかりになる恐れがある。

もう一つには何をやりたいかを中心に考える計画がある。大きな項目になるとどこ

までできるのか今すぐ言えない。しかし、いますぐ約束しなければならないのであれば計画にあげられませんとなる。むしろ計画の中では「〇〇を検討する」と大きな項目を掲げ、計画策定後に具体的に考えていくという方法がある。

彦根市として、環境についてどういったことをやっていきたいかを2年間考えていくことも有意義なことと思う。

・滋賀県では、「第五次滋賀県環境総合計画」が今年度中に策定される。国、県、市町にも計画があり、それがバラバラの方向ではなく、同じ方向で機能していけばよいと思う。

「第五次滋賀県環境総合計画」の特徴としては、地域資源の活用を視点としており、国も重要視している。小さな循環から、大きな循環へとつなげていく。それも環境のみならず経済、社会をひっくるめて計画を策定していく方向であるので、そういった形の議論が進んでいけばよいと思う。

・国の計画、県の計画、市町の計画とそれぞれ階層構造をなしているので、大きな方向としては同じ方向を向いていくのだと思うが、それぞれ独自に考えていくべきである。数値目標ありきではなく、自分たちは何をしていきたいのかということを出発点にして考えていくべきだと思う。

・数値目標を達成することよりも、その数値目標を達成すると彦根の環境にとってどんな良いことがあるのかといったことを市民の方々が実感あるいは理解できるような大きな絵を彦根市として描かないと、これからやろうとすることが作業になってしまうと思う。達成できないかもしれないが、こういった方向に向かって彦根市は進んでいきたいと市民の方々が思っていることをまずは洗い出さないと行政と市民の方々との感覚のずれが埋められないと思うので、足並みを揃えつつ、国や県の流れの中で、彦根らしさとは何かを抽出していくことが、やっけていて達成感があるのではないかと思う。

➤ 次回の開催日は、改めて調整を行う。

3. 閉会